2022年 １月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

３級 実技試験

資産設計提案業務

実施日① ◆	年	月	日
実施日② ◆	年	月	日
実施日③ ◆	年	月	日
試験時間 ◆ 60分			

★ 注 意 事 項 ★

① 問題用紙は試験監督者の指示があるまで開けないでください。
② 試験問題は、試験用紙と解答用紙からなっています。解答はすべて解答用紙に記入してください。
③ 解答用紙にはあらかじめ受検番号、カナ氏名が印字されていますので、ご自身のものかを確認してから漢字氏名を記入してください。
④ 問題数は20問、解答はすべて三答択一式です。
⑤ 試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（１月・５月試験は前年10月1日、９月試験はその年の４月１日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
⑥ 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
⑦ 問題用紙・解答用紙に印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合は、お申し出ください。
⑧ 解答用紙は試験終了後、回収しますので持ち帰らないでください。問題用紙はお持ち帰りください。
⑨ 計算機（電卓）は演算機能のみを有するものだけ使用できます。関数機能やプログラムの入力可能なものは使用できません。
⑩ 携帯電話やスマートフォンなどの通信機能を有する機器は電源を切ってカバン等へしまってください（マナーモードも不可）。
⑪ 机の上には受検票、本人確認書類、筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、計算機（電卓）以外のものは置かないでください。
⑫ 不正行為防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
⑬ 試験問題の音読は慎んでください。
⑭ 試験開始後、途中退室は一切できません。

FP3級ドットコム

【第１問】 下記の（問１）～（問２）について解答しなさい。

問１

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「ＦＰ」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 生命保険募集人・保険仲立人の登録を受けていないＦＰが、顧客から相談を受け、将来の必要保障額の試算および加入している生命保険の保障内容を説明した。
2. 弁護士資格を有していないＦＰが、離婚後の生活設計について相談された顧客の依頼により、その顧客の代理人として相手方との離婚時の財産分与について話し合いを行い、報酬を得た。
3. 税理士資格を有していないＦＰが、参加費有料のセミナーにおいて、仮定の事例に基づき、一般的な税法の解説を行った。

問２

下記は、最上家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

＜最上家のキャッシュフロー表＞　（単位：万円）

経過年数			基準年	１年	２年	３年	４年
西暦（年）			２０２３	２０２４	２０２５	２０２６	２０２７
家族・年齢	最上　信也	本人	３３歳	３４歳	３５歳	３６歳	３７歳
	南美	妻	３２歳	３３歳	３４歳	３５歳	３６歳
	勇斗	長男	５歳	６歳	７歳	８歳	９歳
	彩華	長女	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳
ライフイベント				自動車買換え	勇斗小学校入学		住宅購入
		変動率					
収入	給与収入（夫）	２％	４００				（　ア　）
	給与収入（妻）	－	８０	８０	８０	８０	８０
	収入合計	－	４８０				
支出	基本生活費	２％	１８６	１９０			
	住宅関連費	－	９６	９６	９６	９６	１３２
	教育費	－	２０	２０	４０	３０	３０
	保険料	－	２５	２５	２５	２５	２５
	一時的支出	－		２５０			８５０
	その他支出	－	２４	３６	３６	３６	３６
	支出合計	－	３５１	６１７			
年間収支			１２９	▲１２９		１２０	
金融資産残高		１％	８４９		８４０	（　イ　）	

※年齢および金融資産残高は各年１２月３１日現在のものとし、２０２３年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1.　（ア）４３２　（イ）９７０

2.　（ア）４３３　（イ）９６８

3.　（ア）４３３　（イ）９６０

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第２問】 下記の（問３）～（問５）について解答しなさい。

問３

下記＜資料＞に基づくＱＸ株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

＜資料＞

［株式市場に関するデータ］

	ＰＥＲ（今期予想）	ＰＢＲ	配当利回り（今期予想・単純平均）
日経平均採用銘柄	１４．２３倍	１．２５倍	１．８２％
東証１部全銘柄	１６．４１倍	１．３３倍	１．７８％
ジャスダック全銘柄	２２．５７倍	１．４４倍	１．５７％

［ＱＸ株式会社に関するデータ］

株価	９１０円
１株当たり純利益（今期予想）	４５円
１株当たり純資産	１，３７５円
１株当たり年間配当金（今期予想）	３０円

1. 株価収益率（ＰＥＲ）で比較した場合、ＱＸ株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均（予想ベース）より割安である。
2. 株価純資産倍率（ＰＢＲ）で比較した場合、ＱＸ株式会社の株価は東京証券取引所市場第１部（東証１部）全銘柄の平均より割安である。
3. 配当利回りで比較した場合、ＱＸ株式会社の配当利回りはジャスダック全銘柄の平均（予想ベース）より低い。

問４

関根さんは上場株式への投資に興味をもち、ＦＰの榎田さんに質問をした。下記の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

関根さん：株式会社による株主還元策について教えてください。

榎田さん：株式会社によっては、手元資金を使い自社の流通株式を買い戻す自社株買いを行う場合があります。自社株買いを行うと市場に出回る株数が減るため、株価に影響する他の要因を考慮しないと仮定した場合、１株当たりの価値は（　ア　）すると考えられます。

関根さん：株式会社による株主への還元率を表す指標はないのでしょうか。

榎田さん：配当性向が挙げられます。配当性向とは、株式会社が稼いだ純利益のうち、株主へ配当した割合を表しています。純利益が同額で株主配当金が多ければ、配当性向は（　イ　）なります。

関根さん：分かりました。ところで、ほかにはどのような株式投資によるメリットがありますか。

榎田さん：例えば、一定株数以上を保有する株主に対し、株式会社が自社製品や割引券、商品券などの特典等を贈る（　ウ　）が挙げられます。

1．空欄（ア）にあてはまる語句は、「減少」である。
2．空欄（イ）にあてはまる語句は、「高く」である。
3．空欄（ウ）にあてはまる語句は、「株主優待制度」である。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問５

福岡さんはＱＳ投資信託を新規募集時に１，０００万口購入し、特定口座（源泉徴収口座）で保有して収益分配金を受け取っている。下記＜資料＞に基づき、福岡さんが保有するＱＳ投資信託に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜資料＞

［ＱＳ投資信託の商品概要（新規募集時）］
投資信託の分類：追加型／国内／株式／特殊型（ブル・ベア型）
決算および収益分配：毎年４月２５日（休業日の場合には翌営業日）
申込価格：１口当たり１円
申込単位：１万口以上１口単位
基準価額：当ファンドにおいては、１万口当たりの価額で表示
購入時手数料：購入金額に対して１．６％（税込み）
運用管理費用（信託報酬）：純資産総額に対し年０．８％（税込み）
信託財産留保額：１万口につき解約請求日の翌営業日の基準価額に０．３％を乗じた額
［福岡さんが保有するＱＳ投資信託の収益分配金受取時の運用状況（１万口当たり）］
収益分配前の個別元本：９，４００円
収益分配前の基準価額：１０，０００円
収益分配金：１，０００円
収益分配後の基準価額：９，０００円

- 福岡さんが、ＱＳ投資信託を新規募集時に１，０００万口購入した際に、支払った購入時手数料（税込み）は、（　ア　）である。
- 収益分配時に、福岡さんに支払われた収益分配金のうち６００円（１万口当たり）は（　イ　）である。

1．（ア）２４０，０００円　（イ）普通分配金
2．（ア）１６０，０００円　（イ）元本払戻金（特別分配金）
3．（ア）１６０，０００円　（イ）普通分配金

【第３問】 下記の（問６）～（問７）について解答しなさい。

問６

公的な土地評価に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

価格の種類	公示価格	相続税路線価	固定資産税評価額
所管	（　ア　）	＊＊＊	（　イ　）
評価割合	－	公示価格の（　ウ　）程度	公示価格の７０％程度
実施目的	一般の土地取引の指標等	相続税等の財産評価の基礎	固定資産税等の課税標準の基礎

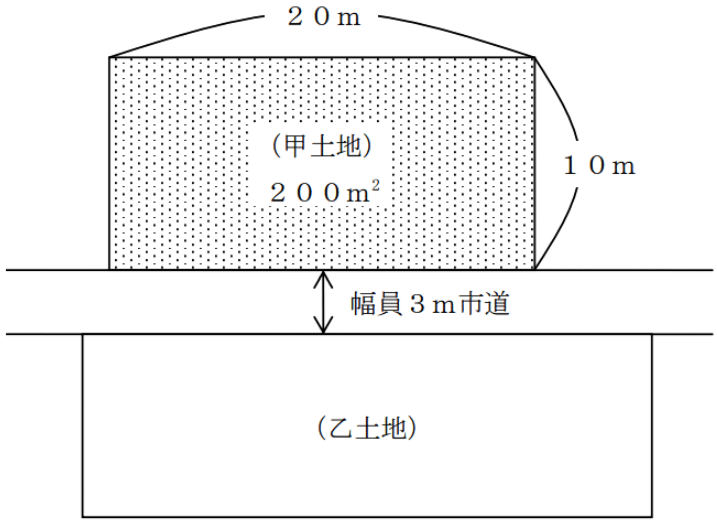
※問題作成の都合上、表の一部を空欄（＊＊＊）としている。

1. （ア）総務省　（イ）市町村（東京２３区は東京都）　（ウ）７０％
2. （ア）国土交通省　（イ）市町村（東京２３区は東京都）　（ウ）８０％
3. （ア）国土交通省　（イ）国税庁　（ウ）９０％

問７

下記＜資料＞の甲土地の建築面積の最高限度を算出する基礎となる敷地面積として、正しいものはどれか。なお、この土地の存する区域は特定行政庁が指定する区域に該当しないものとし、その他記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



※甲土地・乙土地が面する道路は建築基準法第４２条第２項に該当する道路で、甲土地・乙土地はともにセットバックを要する。また、道路の中心線は現況道路の中心に位置するものとする。

1. １２０㎡
2. １８０㎡
3. １９０㎡

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第４問】 下記の（問８）～（問１０）について解答しなさい。

問８

杉野健三さんが加入しているがん保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、健三さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号（〇〇〇）△△△△△　　保険種類　がん保険（愛称：＊＊＊＊＊）

保険契約者	杉野　健三　様	保険契約者印
被保険者	杉野　健三　様 契約年齢４２歳　男性	杉野
受取人	（給付金） 被保険者　様	
	（死亡保険金） 杉野　ひとみ　様（妻）	受取割合 １０割

◇契約日（保険期間の始期）
２０１６年８月１日

◇主契約の保険期間
終身

◇主契約の保険料払込期間
終身払込

◆ご契約内容

主契約 ［本人型］	がん入院給付金　１日目から	日額１０，０００円
	がん通院給付金	日額５，０００円
	がん診断給付金　初めてがんと診断されたとき	１００万円
	手術給付金　１回につき	手術の種類に応じてがん入院給付金日額の１０倍・２０倍・４０倍
	死亡保険金	がん入院給付金日額の１００倍（がん以外の死亡の場合は、がん入院給付金日額の１０倍）

◆お払い込みいただく合計保険料

毎回　　×，×××円

［保険料払込方法］
月払い

杉野健三さんが、２０２３年中に初めてがんと診断され、がんの治療のために２２日間入院し、その間に手術（給付倍率４０倍）を１回受け、退院から１週間後に交通事故で死亡した場合に支払われる保険金および給付金は合計（　ア　）である。

1. ７２０，０００円
2. １，７２０，０００円
3. ２，６２０，０００円

問９

会社員で共働きの大場さん夫妻が加入している生命保険は下表のとおりである。下表の契約Ａ～Ｃについて、保険金が支払われた場合の課税関係に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

	保険種類	保険料 払込方法	保険契約者 （保険料負担者）	被保険者	死亡保険金 受取人	年金 受取人
契約Ａ	定期保険	月払い	夫	妻	子	－
契約Ｂ	介護保険	月払い	妻	夫	妻	－
契約Ｃ	個人年金保険	月払い	夫	夫	妻	夫

1．契約Ａについて、子が受け取った死亡保険金は贈与税の課税対象となる。
2．契約Ｂについて、妻が受け取った死亡保険金は相続税の課税対象となる。
3．契約Ｃについて、妻が受け取った死亡保険金は所得税・住民税の課税対象となる。

問１０

自動車損害賠償責任保険（以下「自賠責保険」という）の補償内容は下記＜資料（一部抜粋）＞のとおりである。この自賠責保険に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、加害車両が複数の場合については考慮しないものとする。

＜資料（一部抜粋）＞

自賠責保険についてのご案内

■保険金等のお支払い内容

	損害の範囲	支払限度額（被害者１名当たり）
傷害による損害	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料	最高１２０万円まで
後遺障害による損害	逸失利益、慰謝料等	神経系統・精神・胸腹部臓器に著しい障害を残して介護が必要な場合 常時介護のとき：最高４，０００万円 随時介護のとき：最高３，０００万円 後遺障害の程度により 第１級：最高３，０００万円～第１４級：最高７５万円まで
死亡による損害	葬儀費、逸失利益、 慰謝料（本人および遺族）	最高３，０００万円まで
死亡するまでの傷害による損害	（傷害による損害の場合と同じ）	最高１２０万円まで

1．原動機付自転車は、自賠責保険の加入が義務付けられていない。
2．自賠責保険の支払い対象となる被害者１名の事故で治療費と休業損害が合計１５０万円であった場合、傷害による損害として１５０万円が支払われる。
3．自賠責保険は単独事故による運転者自身のケガについては補償していない。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第５問】 下記の（問１１）～（問１３）について解答しなさい。

問１１

布施さん（６８歳）の２０２３年分の収入等は下記＜資料＞のとおりである。布施さんの２０２３年分の所得税における総所得金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

内容	金額
アルバイト収入	５０万円
老齢厚生年金	３２０万円

※アルバイト収入は給与所得控除額を控除する前の金額である。

※老齢厚生年金は公的年金等控除額を控除する前の金額である。

＜給与所得控除額の速算表＞

給与等の収入金額		給与所得控除額
	１６２．５万円 以下	５５万円
１６２．５万円 超	１８０万円 以下	収入金額×４０％－　１０万円
１８０万円 超	３６０万円 以下	収入金額×３０％＋　８万円
３６０万円 超	６６０万円 以下	収入金額×２０％＋　４４万円
６６０万円 超	８５０万円 以下	収入金額×１０％＋１１０万円
８５０万円 超		１９５万円

＜公的年金等控除額の速算表＞

納税者区分	公的年金等の収入金額（A）		公的年金等控除額 公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額 １，０００万円 以下
６５歳以上の者		３３０万円 以下	１１０万円
	３３０万円 超	４１０万円 以下	（A）×２５％＋　２７．５万円
	４１０万円 超	７７０万円 以下	（A）×１５％＋　６８．５万円
	７７０万円 超	１，０００万円 以下	（A）×　５％＋１４５．５万円
	１，０００万円 超		１９５．５万円

1．２１０万円

2．２５０万円

3．２６０万円

問１２

会社員の大垣さんの２０２３年分の所得等が下記＜資料＞のとおりである場合、大垣さんが２０２３年分の所得税の確定申告をする際に、給与所得と損益通算できる損失の金額として、正しいものはどれか。なお、▲が付された所得の金額は、その所得に損失が発生していることを意味するものとする。

＜資料＞

所得または損失の種類	所得金額	備考
給与所得	８００万円	勤務先からの給与であり、年末調整は済んでいる。
不動産所得	▲２００万円	収入金額：３００万円　必要経費：５００万円 ＊必要経費の中には、土地等の取得に要した借入金の利子が５０万円ある。
雑所得	▲１０万円	副業で行っている執筆活動に係る損失

1. ▲２００万円
2. ▲１６０万円
3. ▲１５０万円

問１３

会社員の細川博さんが２０２３年中に支払った医療費等が下記＜資料＞のとおりである場合、博さんの２０２３年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、博さんの２０２３年中の所得は、給与所得６００万円のみであり、支払った医療費等はすべて博さんおよび生計を一にする妻のために支払ったものである。また、保険金等により補てんされた金額はないものとし、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算することとする。

＜資料＞

支払年月	医療等を受けた人	医療機関等	内容	支払金額
２月	妻	A形成外科	美容目的の施術代	１５０，０００円
８月	博さん	B病院	健康診断料（※）	２０，０００円
９月	博さん	B病院	治療費（※）	２５０，０００円

（※）博さんは２０２３年８月に受けた健康診断により重大な疾病が発見されたため、引き続き入院して治療を行った。

1. ３２０，０００円
2. １７０，０００円
3. １５０，０００円

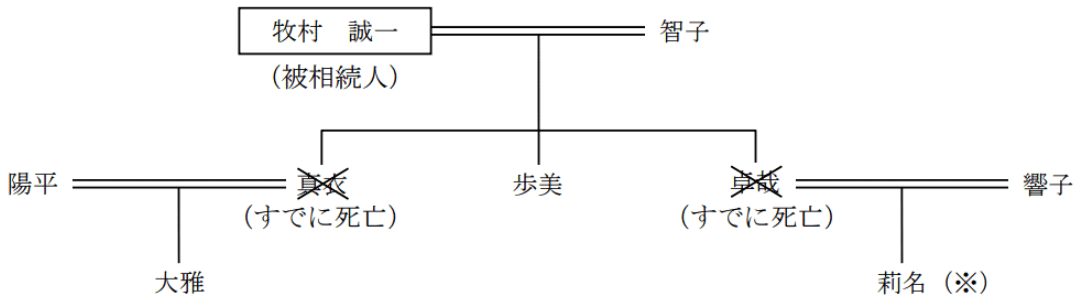
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第６問】 下記の（問１４）～（問１５）について解答しなさい。

問１４

２０２４年１月５日に相続が開始された牧村誠一さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



※莉名さんは期限内に家庭裁判所で手続きを行い、適法に相続を放棄した。

1．智子 １／２　歩美 １／２
2．智子 １／２　歩美 １／４　大雅 １／４
3．智子 １／２　歩美 １／６　大雅 １／６　莉名 １／６

問１５

ＦＰで税理士でもある西山さんは、小山和夫さん（６６歳）から相続時精算課税制度に関する相談を受けた。和夫さんからの相談内容に関する記録は、下記＜資料＞のとおりである。この相談に対する西山さんの回答の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜資料＞

［相談記録］
相談日：２０２３年１１月３日
相談者：小山和夫 様（６６歳）
相談内容：相続時精算課税制度を活用して、長男の小山豊様（３５歳）に事業用資金として現金３，０００万円を贈与したい。この贈与について相続時精算課税制度を適用した場合の贈与税の計算における控除額や税率について知りたい。なお、豊様は、和夫様からの贈与について相続時精算課税制度の適用を受けたことはない。

［西山さんの回答］
「ご相談のあった贈与について相続時精算課税制度の適用を受ける場合、原則として、贈与をした年の１月１日において、贈与者である親や祖父母が（　ア　）歳以上、受贈者である子や孫が１８歳以上であることが必要とされます。和夫様と豊様はこれらの要件を満たしていますので、所定の手続きをし、特別控除として最大（　イ　）万円の控除を受けることができます。今回贈与を考えている現金の金額は３，０００万円であり、（　イ　）万円を超えています。この超えた部分については、（　ウ　）％の税率を乗じて計算した贈与税が課されます。」

1. （ア）６０　（イ）２，０００　（ウ）１０
2. （ア）６５　（イ）２，５００　（ウ）２０
3. （ア）６０　（イ）２，５００　（ウ）２０

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第７問】 下記の（問１６）～（問２０）について解答しなさい。

《設　例》

香川航平さんは株式会社ＷＡに勤める会社員である。航平さんは、今後の生活設計について、ＦＰで税理士でもある成田さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも２０２４年１月１日現在のものである。

［家族構成（同居家族）］

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
香川　航平	本人	１９８１年　７月２３日	４２歳	会社員
優子	妻	１９８３年　５月３０日	４０歳	専業主婦
あかり	長女	２００６年１０月１０日	１７歳	高校生

［保有財産（時価）］（単位：万円）

金融資産	
普通預金	２００
定期預金	４００
投資信託	１００
上場株式	１５０
生命保険（解約返戻金相当額）	３０
不動産（自宅マンション）	３，５００

［負債残高］

住宅ローン（自宅マンション）：２，５００万円（債務者は航平さん、団体信用生命保険付き）

［その他］

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないものとする。

問１６

ＦＰの成田さんは、香川家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜香川家のバランスシート＞　（単位：万円）

［資産］	×××	［負債］	×××
		負債合計	×××
		［純資産］	（　ア　）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1．８８０（万円）
2．１，８５０（万円）
3．１，８８０（万円）

問１７

航平さんは、６０歳で定年を迎えた後、公的年金の支給が始まる６５歳までの５年間の生活資金に退職一時金の一部を充てようと考えている。仮に退職一時金のうち５００万円を年利２．０％で複利運用しながら５年間で均等に取り崩すこととした場合、年間で取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の３つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利２．０％）＞

	終価係数	資本回収係数	減債基金係数
５年	１．１０４	０．２１２１６	０．１９２１６

＊記載されている数値は正しいものとする。

1．９６０，８００円
2．１，０６０，８００円
3．１，１０４，０００円

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１８

航平さんは、長女あかりさんの進路が決定したのちに、住宅ローンの繰上げ返済を検討しており、ＦＰの成田さんに質問をした。住宅ローンの繰上げ返済に関する成田さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「繰上げ返済は、通常の返済とは別に、現在返済しているローンの利息部分を返済するものです。」
2. 「繰上げ返済は、教育費や老後資金の準備など、他の資金使途とのやりくりを十分考慮したうえで、早期に行うほど、利息軽減効果は高くなります。」
3. 「毎月の返済額を変えずに、返済期間を短縮する方法を『期間短縮型』といいます。」

問１９

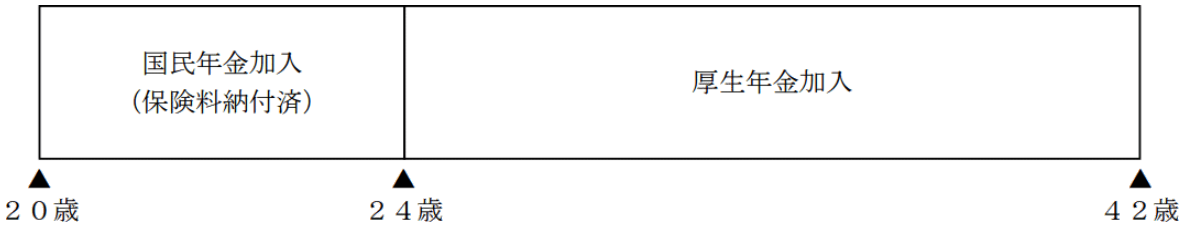
航平さんは、病気やケガで働けなくなった場合、健康保険からどのような給付が受けられるのか、ＦＰの成田さんに質問をした。成田さんが行った健康保険（全国健康保険協会管掌健康保険）の傷病手当金に関する次の回答の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜成田さんの回答＞
「傷病手当金は業務外の病気やケガの療養のため、勤務先を休んだ日が連続して（　ア　）日間続いた後（　イ　）日目以降の休業して賃金が受けられない日について、休業１日につき、支給開始日以前の継続した１２ヵ月間の各月の標準報酬月額の平均額を３０で除した額の（　ウ　）相当額が支給されます。」

1. （ア）２　（イ）３　（ウ）３分の２
2. （ア）３　（イ）４　（ウ）３分の２
3. （ア）３　（イ）４　（ウ）４分の３

問２０

航平さんの年金加入歴は下記のとおりである。仮に、航平さんが現時点（４２歳）で死亡した場合、航平さんの死亡時点において妻の優子さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、航平さんは、入社時（２４歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1．遺族基礎年金と遺族厚生年金が支給される。
2．遺族厚生年金が支給され中高齢寡婦加算額が加算される。
3．寡婦年金と遺族厚生年金が支給される。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

《模範解答》

問番号	解答
問1	2
問2	2
問3	2
問4	1
問5	3
問6	2
問7	3
問8	2
問9	1
問10	3
問11	1
問12	3
問13	2
問14	2
問15	3
問16	3
問17	2
問18	1
問19	2
問20	1